# いわて建設業みらいフォーラム2025を開催しました

#### 建設技術振興課

岩手県と一般社団法人岩手県建設業協会では、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や魅力を発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的に「いわて建設業みらいフォーラム」を平成25年度から開催しています。

今年度は、令和7年10月30日にキオクシア アイーナで開催し、県内の高校生等約400名に参加いただきました。

### 企業展示

ホールホワイ工等では、県内建設企業等20者 の企業展示を行いました。

今年度から土木・建築系の企業のほかに電気工事や管設備工事、建設コンサルタントの3業種を追加し、建設業の幅広い業種と各会社の魅力PRを行いました。来場した高校生は各社の説明を熱心に聞いていました。





▲多くのブースでは動画やパンフレットによるPR があり、生徒は県内企業への理解を深めました。



▲実際のドローンの展示をした 企業もありました。

## パネルディスカッション

ホールでは県内建設企業で働く従業員の方々をパネリストとしてお招きし、「建設業の現在と未来」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

それぞれ職種や業種が異なるパネリストの皆さんから建設業の働く環境や働いていてよかったことなど、様々なお話をしていただきました。

- ~ パネリストの皆さん ~
- ▶ 小松原未来さん(進栄建設(株)/技術者)
- ▶ 鈴木陽子さん(昭栄建設(株)/営業)
- ▶ 熊谷さやかさん((株)吉田測量設計/技術者)





現在は国土交通省発注の河川維持工事の 現場代理人として働いている小松原さんか らは「建設業はいわゆる3K(きつい・汚 い・危険)と言われるが、環境整備が進ん でおり、性別を問わず働きやすい環境が整っている」とのお話がありました。

建設コンサルタント会社で技術者として 働く熊谷さんは「生まれも育ちも岩手県だが、今の仕事をするようになってから、より地元が鮮明に見えるようになった」、「ドローンなどの資格は会社のサポートを受けて取得することができた」など、「地元」で働くことの良さや会社のサポート体制について、お話いただきました。

#### パネリストにインタビュー!

パネリストの皆さんには「建設業に就いてよかった10のコト」にお答えいただき、来場者の皆さんにご紹介しました。

会社内で入札契約などの仕事を担当する鈴木さんからは「一つの工事には様々な人々がチームとして関わっており、完成時には達成感を感じる」、「事情があって子どもを保育園に預けられないときは、子連れ出勤を認めてもらっている」など、営業という立場での働き方や工事への関り方、建設企業では子育てをしながら働きやすい環境が整備されていることについて、お話をいただきました。

